令和8年11月25日

『新相川橋』が開通

～11月22日（日）に渡り初め式を開催～

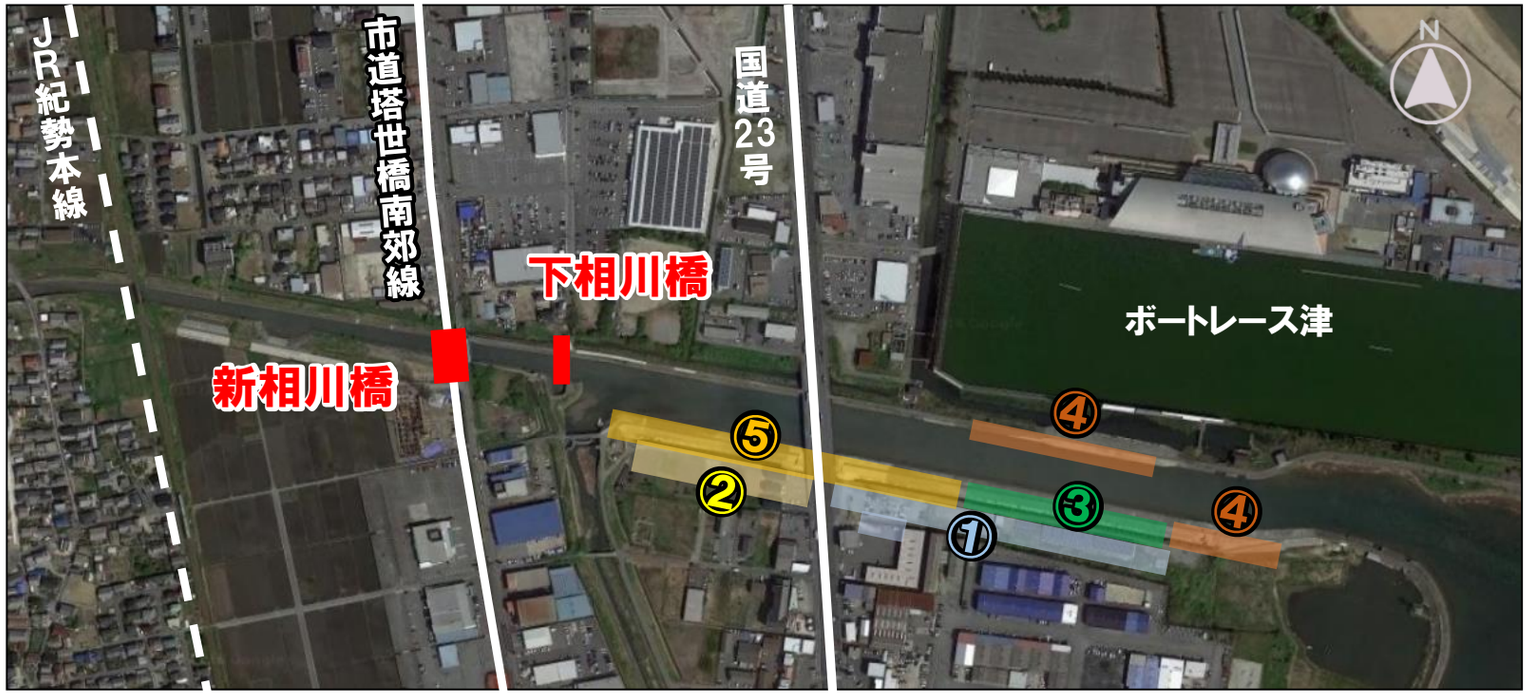


架替後（完成イメージ）



令和8年11月2日

三重県による二級河川相川の河川改修事業



①	平成17～18年	国道23号下流右岸側　築堤工	平成17年　8千万円 平成18年　3億円
②	平成19～20年	国道23号上流右岸側　築堤工	平成19年　1億3千万円 平成20年　3億5千万円
③	平成21年	国道23号下流右岸側　法覆工後、旧堤撤去	平成21年　6億2百万円
	平成22年	相川水系河川整備計画の策定	
④	平成22～23年	国道23号下流左岸側　耐震護岸工 国道23号下流右岸側　法覆工後、旧堤撤去	平成22年　1億6千万円 平成23年　3億2千万円
⑤	平成24年	国道23号上下流右岸側　法覆工後、旧堤撤去	平成24年　2億5千万円
			計　21億9千2百万円

国道23号下流側整備の状況

①



③



相川水系河川整備計画

河積が小さく流下能力が不足している為、
引提により流下能力を向上させる必要がある。
これに伴い、区間内に存在する橋梁の改築を
行う必要がある。

新相川橋架け替えの経緯

平成25～26年　三重県が新相川橋橋梁詳細設計を実施

新相川橋の架け替えに係る事業費
約16億8千万円（当時）

三重県が河川改修事業を進めるための財源となる国の防災・安全交付金のうち
当該事業への配分額

平成25年　5千万円
平成26年　8千4百万円
平成27年　7千6百万円
平成28年　3千万円

年間平均約6千万円

交付金で架け替えようとすると30年近くを要する為、集中的な投資が必要

予算獲得へ向け、国、県等に対して、要望活動を実施

予算獲得へ向けた取り組み

平成28年11月	財務省へ「防災上重要なものについて交付金にかわる集中的な予算の確保」を要望
平成29年10月	中部直轄河川治水懇談会で「個別の補助金」を要望
平成30年8月	鈴木知事と市長の1対1対談で 「県管理河川の早期整備に向けた予算確保に係る新たな仕組みづくり」を要望
平成30年11月	中部直轄河川治水懇談会で「交付金の一部補助金化（個別補助化）」を要望
平成30年11月	相川水系治水事業促進期成同盟会から国土交通省へ 「県管理河川の早期整備に向けた予算確保に係る新たな仕組みづくり」を要望
平成30年12月	**大規模事業に関する個別補助事業「大規模特定河川事業」の創設**
平成31年2月	三重県から国土交通省へ大規模特定河川事業新規採択の要望

令和元年度当初予算にて、相川が**大規模特定河川事業に新規採択**

東海地方初！

相川大規模特定河川事業（三重県）

② 捷水路（しょうすいろ）整備

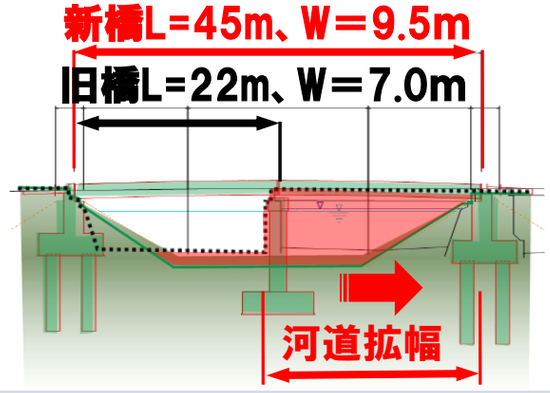
増水時の治水安全度を高めるため、蛇行部分を短縮する水路（捷水路）を整備





① 新相川橋架替





事業内容 橋梁架替（橋長45m、幅員9.5m）
捷水路整備（延長260m）

事業期間 当初：令和元年～令和8年
令和元年～令和9年
（令和6年3月に事業費、事業期間を変更）

全体事業費 当初：16億8,000万円
26億7,000万円（物価上昇等により）

（内訳）橋梁 23億9,000万円
橋梁部 11億8,000万円
占用物件移転補償 12億1,000万円
捷水路2億8,000万円

①－1　新相川橋架替　～下相川橋の撤去・歩道機能の集約～

下相川橋　昭和55年架設　橋長25m
幅員1．6mの木製歩道橋



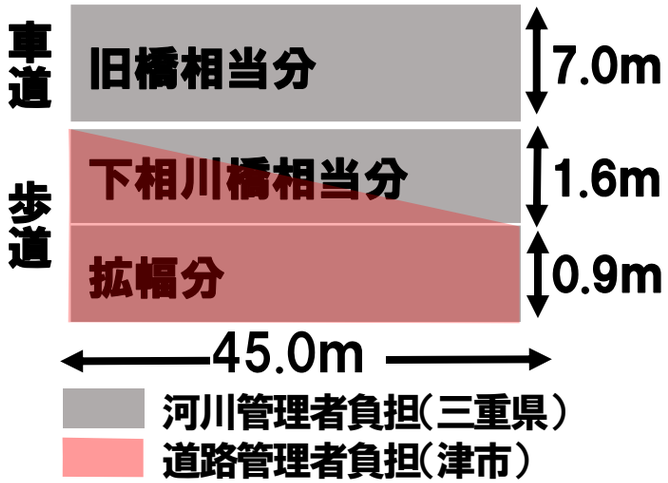
平成26年　老朽化により通行止め
令和6年　　下相川橋撤去



新相川橋に幅員2．5mの歩道を設置



津市の費用負担



■ 木橋からコンクリート橋へ（質的改良）
下相川橋分幅員1．6m分
→ 津市　50%費用負担

■ 歩道拡幅（新設）0．9m分
→ 津市　100%費用負担

津市　令和7年度までの支出分　計1億9千5百万円（防災安全交付金を活用）



①－2　新相川橋架替　～整備の経過～

平成31年



工事着手前

令和4年～令和5年



仮設道路完成・通行切替・旧橋撤去・橋梁下部工

令和6年～令和7年



橋梁上部工・物件移設

令和8年11月



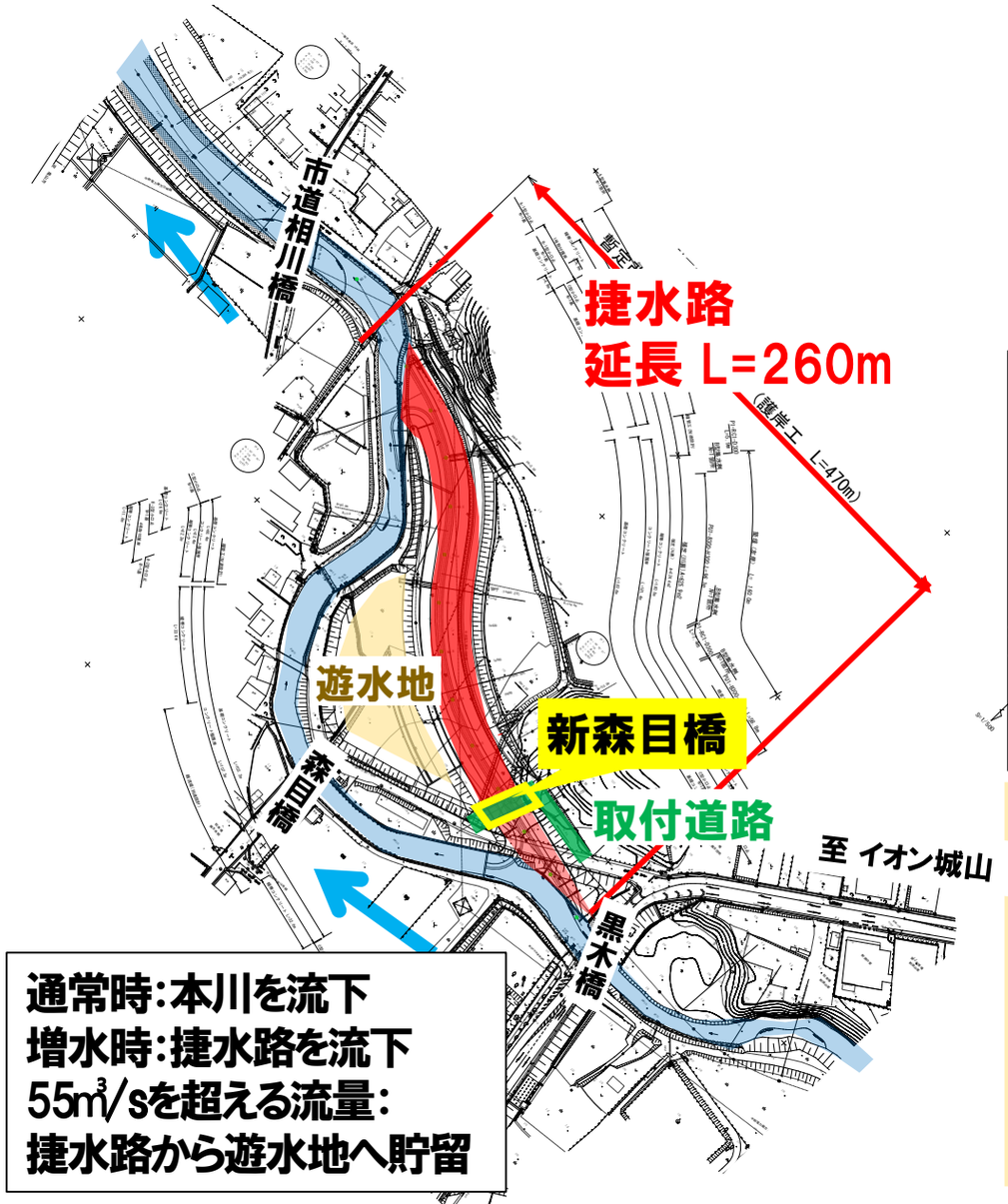
取付道路工

11月25日
供用開始
予定！

② 捷水路(しょうすいろ)整備

- 川の増水時に流下能力を向上させる捷水路を新たに整備
- 捷水路と本川の間に、貯水機能を有する遊水地を整備

▶ 治水安全度の向上

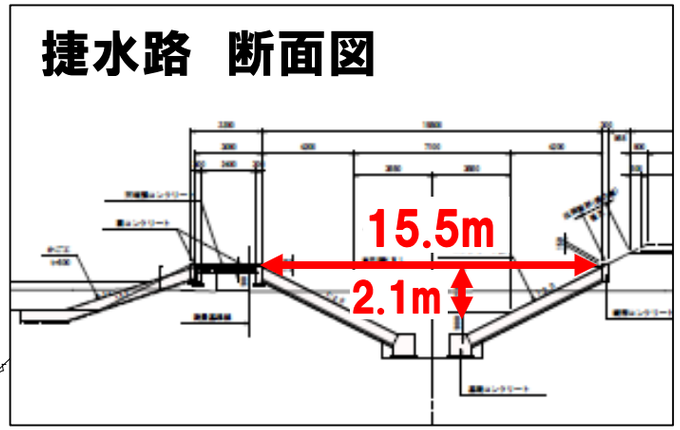


通常時:本川を流下
増水時:捷水路を流下
55㎥/sを超える流量:
捷水路から遊水地へ貯留

令和6年～令和8年
新森目橋橋梁工・護岸工

令和8年～令和9年
取付道路工

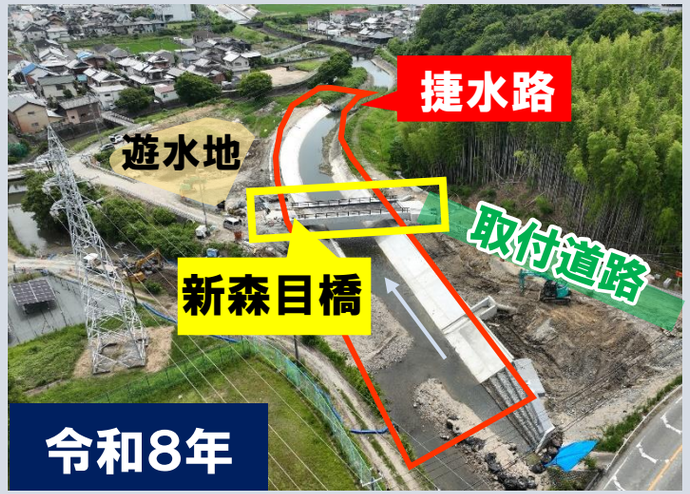
捷水路　断面図



遊水地とは

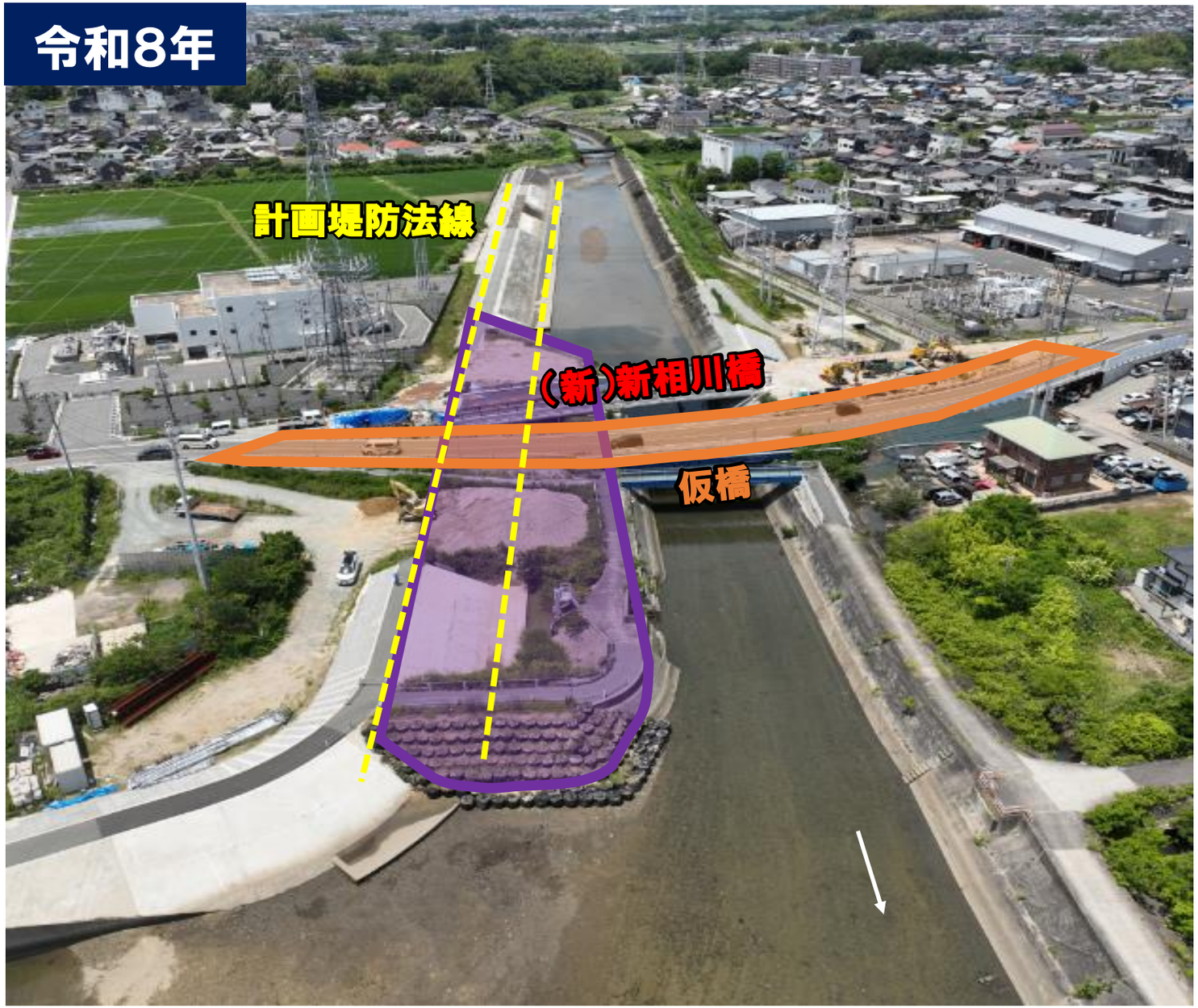
大雨や台風などで河川の水位が上がったときに、川の水を一時的に引き込んで貯め、下流へ流れる流量や水位を抑えるための治水施設





令和9年度完成予定

今後の河川整備



(新)新相川橋開通
令和8年11月25日(予定)

↓

仮橋撤去(令和8年度)

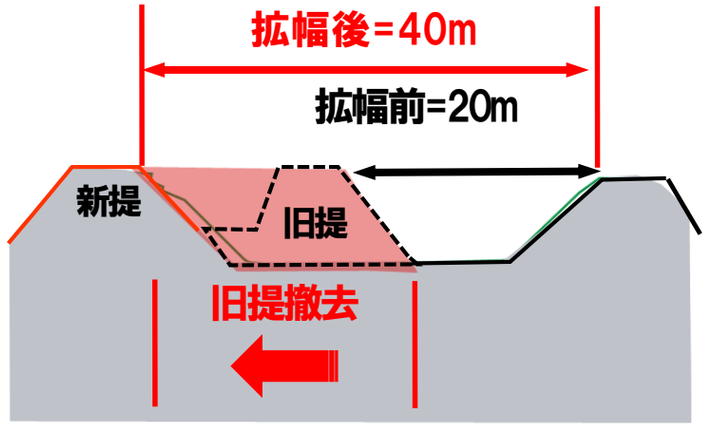
↓

築堤工(令和9年度)

↓

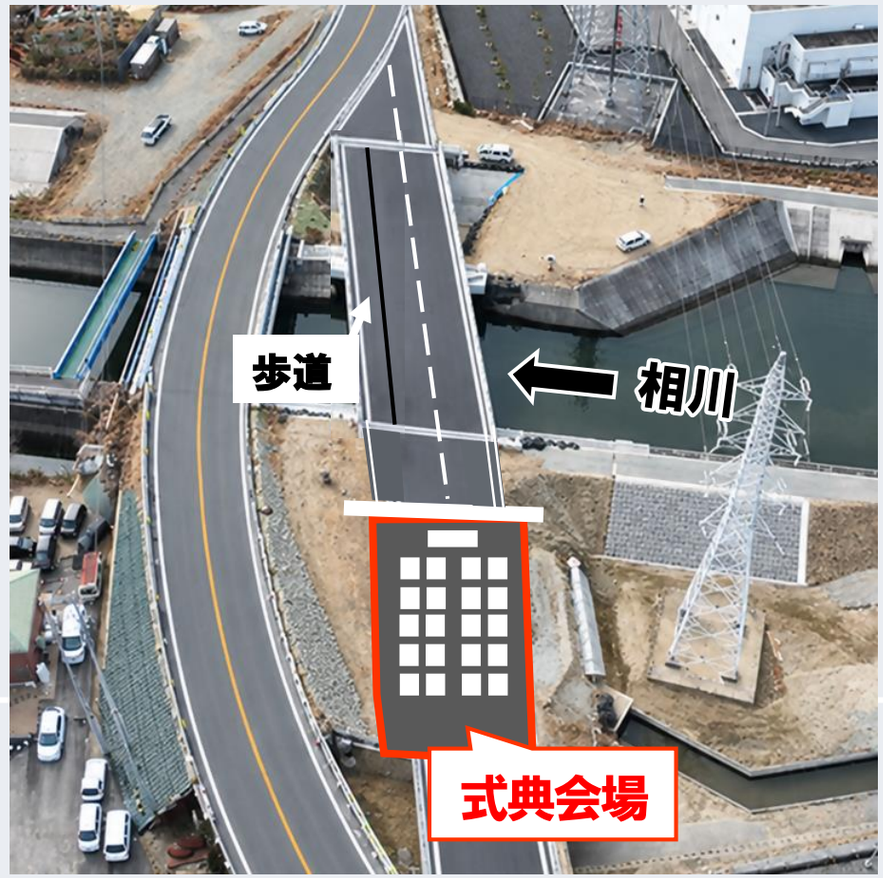
旧提撤去(令和9年度)

河道断面図



渡り初め式の開催

日　時	令和8年11月22日(日) 10時～11時30分　※小雨決行
場　所	新相川橋（津市藤方、津市高茶屋小森上野町　地内　）※公共交通機関でお越しください
内　容	1 式辞 2 来賓祝辞 3 来賓紹介 4 祝電披露 5 テープカット・くす玉開披 6 渡り初め 藤水地区、高茶屋地区に在住の 親・子・孫の三世代4組、当日一般参加者
主　催	津市 相川水系治水事業促進期成同盟会 相川水系治水事業促進協議会
協　賛	株式会社佐南組、イムラ株式会社(井村屋)、株式会社富士珈琲、 株式会社日本ピーエス　　(順不同)



問い合わせ



建設部事業調整室

〒514-8611　津市西丸之内23番1号

TEL　:059-229-3134
FAX　:059-229-3345
E-Mail:229-3134@city.tsu.lg.jp

11月13日(金)～12月13日(日)

空き店舗等を活用した社会実験を実施

～大門・丸之内地区の「通り」が変わる1か月～





令和8年11月2日

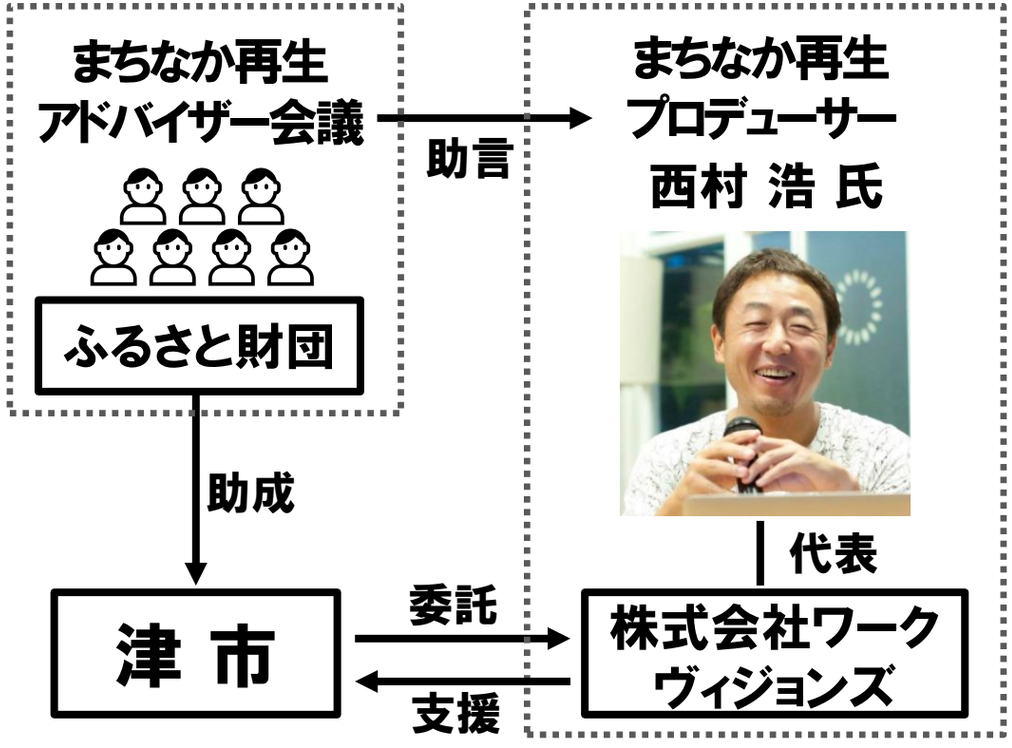
大門・丸之内地区におけるエリアリノベーション事業 ①

1. ふるさと財団まちなか再生事業の活用

県内初採択

求心力が低下している「まちなか」（中心市街地等）の課題に対し、**専門家を活用して実務的な知見から地域の価値創出、人材育成**などに取り組み、持続可能な都市の再生を図る事業を対象とする一般財団法人ふるさと財団の助成事業を活用（最長3年間）

2. 事業の体制



3. まちなか再生プロデューサー

建築家・クリエイティブディレクター

西村　浩（にしむら　ひろし）氏

- 佐賀県生まれ
- 東京大学工学部卒業、東京大学大学院（修士）修了
- 東京藝術大学特別講師
- 日本建築学会賞、グッドデザイン賞大賞　など

- 建築・土木デザインのほか、全国各地で**リノベーションの手法による“豊かで楽しい”まちなか再生**を牽引
- 佐賀市長崎街道の呉服元町では、シャッター通りを人気エリアに再生させ、土地活用モデル大賞「国土交通大臣賞」を受賞　　ほか実績多数

大門・丸之内地区におけるエリアリノベーション事業 ②

4. 事業の目的

大門・丸之内地区において「家守（やもり）会社」の設立を目指し、「エリアリノベーション」や「エリアマネジメント」により、遊休不動産の活用によるまちなか再生を進めること

家守会社とは

遊休不動産や公共空間を活用し、エリアリノベーションやマネジメントを行う**民間のまちづくり事業会社**のこと

エリアリノベーションとは

リノベーションにより遊休不動産を再生し、それを**スモールエリア内で面的に展開**することで、エリア価値の向上などを図る取組

エリアマネジメントとは

地域において、住民、事業主、地権者等が主体となり、**良好な環境や価値の維持・向上を図る**継続的な取組

大門・丸之内地区の遊休不動産



家守会社の設立



- リノベーション
- デザイン
- テナントリーシング
- マーケティング

家守会社は不動産の再生・賃貸・店舗運営などにより収益を確保

まちなかの再生



令和8年度の事業内容

1. 主な取組

▼ **課題の整理**

大門・丸之内地区に重点エリアを設定し、
課題を整理

▼ **勉強会**

遊休不動産の活用等についての
勉強会の実施

▼ **物件の調査**

大門大通り商店街周辺の
物件の空き状況等を調査

▼ **社会実験**

遊休不動産を活用した社会実験
「オープンゲートプロジェクト」の実施

▼ **家守会社の人材発掘**

家守会社に関心のある人材や
事業者を発掘して支援

2. 取組結果

● **大門大通り商店街周辺を重点エリアと設定**

課題

- 通り沿いの1階などに空き店舗が増加
- 建物の解体が進行し空き地や駐車場が増加

商店街の空間の分断 ➡ 滞在・回遊性の低下

● **7月27日（月）に勉強会を開催**

テーマ：“空き”はポテンシャル！

講師：西村 浩 氏

- 大門・丸之内地区の建物の活用に関心のある方など44人が参加
- 好評につき第二弾（実践編）を企画中



● **物件カルテを作成し、用途・利用状況等を可視化**

社会実験「オープンゲートプロジェクト」の概要

1. 実施場所・日時

- 場所　大門大通り商店街
- 期間　11月13日(金)～12月13日(日)
- 時間　10時～17時

※店内の営業時間は各店舗により異なります

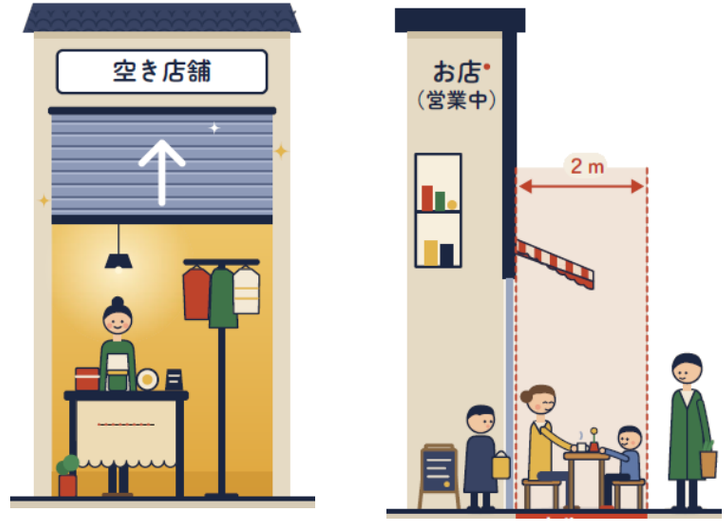


2. 目的・手法

- 目的
  - 空き店舗等の認知を高め、活用の可能性を広げる
  - 大門・丸之内地区内での本格的な出店につなげる
  - 日常的な道路空間の活用につなげる　など
- 手法

空き店舗等でのチャレンジショップの出店や、
店先の道路空間の活用など、実践環境で検証

OPEN
GATE
PROJECT



空き店舗等でのチャレンジショップ

シャッターを開く

対象物件（３物件）と出店者

説明会には９者の出席があり、応募・審査を経て、５者（６区画）のチャレンジ出店が決定

	A 街の駅だいもん	B 旧ブティックノン	C オーデン大門ビル
外観 / 区画			
①店名・内容	**株式会社 辻工務店／ポートシティ** ● 建築残材・古着の販売 ● ご当地ビール「ダイモンエール」の直売	**ビッグスパイス** ● 本格スパイスカレー、ドリンク類の販売	**ネクスト・スコーラ・オーデン（２区画）** ● 大学生による古本の収集、サークル活動展示、コワーキングスペース ● おつまみ・ドリンク類の販売など
②店名・内容	**オブスキュア（仮）** ● 子育て世代を対象としたヘアアレンジのワークショップ	**気まぐれ屋台ひとで** ● 露店営業での焼きそば、アルコール類の販売	



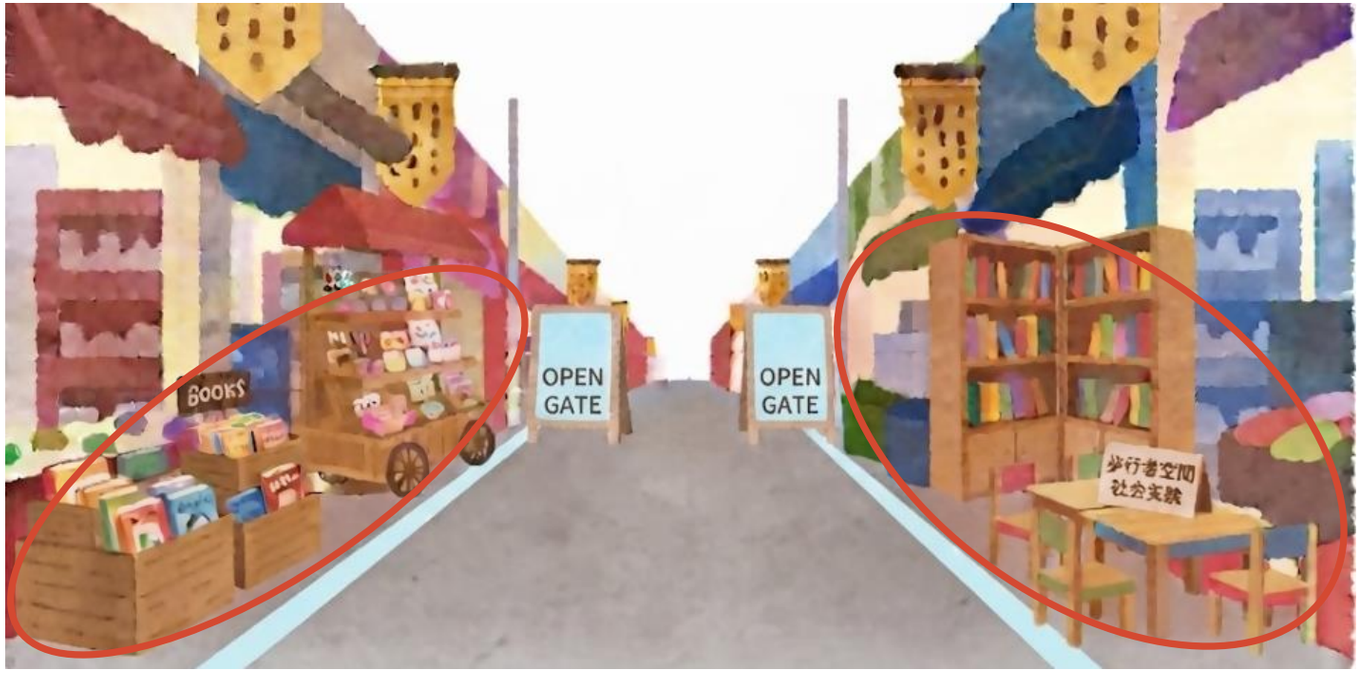
店先の道路空間の活用

ストリートを開く

歩いて楽しく回遊できるまちの実現を見据え、店先の道路空間を活用

1.実施イメージ

店先（2mの範囲）を来街者のおもてなし空間として各店舗が活用



2.活用の内容

- 商品や看板の陳列
- テーブル・イスや植栽の設置
- 本棚や趣味品の展示

事例 岡崎市康生通りにおける日常的な道路空間の活用実験



出典：（株）ワークヴィジョンズ

お誘い合わせの上、ぜひお越しください！

問い合わせ







都市計画部　都市政策課

TEL　:059-229-3183

FAX　:059-229-3336

E-Mail:229-3177@city.tsu.lg.jp

令和8年12月13日（日）開催！

大河ドラマ「豊臣兄弟！」
最終回パブリックビューイングin三重・津





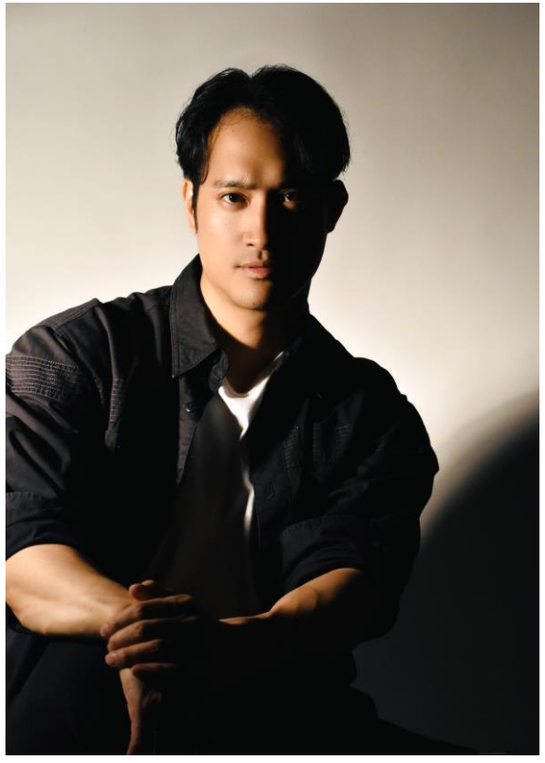
令和8年11月2日

パブリックビューイングの概要

- 高虎イヤーをさらに盛り上げるため、高虎サミットin津に続き、大河ドラマ「豊臣兄弟！」のパブリックビューイングを開催
- ドラマに出演する俳優お二人がゲスト参加

日時	令和8年12月13日（日） 開場：11時　開演：11時45分　終演予定：14時
場所	津市久居アルスプラザ ときの風ホール（久居東鷹跡町246番地）
ゲスト	● 藤堂高虎役　佳久創さん ● 主人公豊臣秀長の妹・あさひ役　倉沢杏菜さん
内容	● 大河ドラマ「豊臣兄弟！」12月13日（日）の最終回を視聴 ● ゲストのお二人に、ドラマの名場面や撮影時の思い出を語っていただきます
主催	NHK津放送局、津市

ゲスト出演者



大河ドラマ「豊臣兄弟！」
藤堂高虎役　俳優

佳久 創 さん

- 1990年生まれ、愛知県出身
- 主な出演作に、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」、「ノーサイド・ゲーム」、「サンクチュアリー聖域ー」、映画「キングダム」シリーズなど
- 趣味は映画観賞、筋トレ
- 特技はベンチプレス（135kg）



大河ドラマ「豊臣兄弟！」
あさひ役　俳優

倉沢 杏菜 さん

- 2005年生まれ、神奈川県出身
- 主な出演作に、大河ドラマ「光る君へ」、連続テレビ小説「ばけばけ」、「VRおじさんの初恋」、「ビリオン×スクール」、など
- 趣味は語学（英語、韓国語）、ダンス、旅行、お菓子作り、映画、アニメ

観覧申し込み

入場無料

受付期間

11月1日（日）～11月23日（月・祝）

申し込み方法

NHK津放送局ホームページから申し込み

※ 申し込みは、お1人様1件のみ

※ 入場整理券1枚で希望人数（2人まで）入場可能

※ 応募多数の場合は、抽選のうえ、当選された方に11月27日（金）頃、入場整理券を発送

※ 当選されなかった方には、11月30日（月）午後3時以降に通知メールを送付



お願い

会場の駐車台数には限りがあり、当日は他の行事も開催されるため、公共交通機関のご利用にご協力ください

問い合わせ



● 申し込み・内容に関すること

NHK津放送局

〒514-8531津市丸之内養正町4-8
電話番号 059-229-3000
受付時間　平日 午前10時～午後5時

● 会場に関すること

津市市民部市民交流課

〒514-8611 津市西丸之内23番1号
電話番号 059-229-3146
ファクス　059-227-8070
E-Mail　229-3252@city.tsu.lg.jp